

平成31年度公営企業局予算見積総括表

電気事業会計

平成31年度予算見積額	2,060,647 千円
平成30年度当初予算額	1,777,333 千円
差引増減額	283,314 千円
対前年度比率	115.9 %

工業用水道事業会計

平成31年度予算見積額	316,287 千円
平成30年度当初予算額	298,695 千円
差引増減額	17,592 千円
対前年度比率	105.9 %

病院事業会計

平成31年度予算見積額	16,524,080 千円
平成30年度当初予算額	16,995,923 千円
差引増減額	△ 471,843 千円
対前年度比率	97.2 %

※平成31年度予算見積額には、人件費(概算)を含むため、今後変更となります。

平成31年度 公営企業局予算体系表

1 電気事業会計

(単位:千円)

電 気 事 業		31年度予算見積額	30年度当初予算額
		収益的収支	
収益的収入		1,671,119	1,649,764
水力電力料		1,568,808	1,544,079
雑収益		844	546
風力電力料		48,780	70,771
受取利息・受取配当金		24,704	13,641
駐車場収益・他会計負担金		7,575	7,456
長期前受金戻入		17,514	9,418
特別利益		2,894	3,853
収益的支出		1,565,925	1,394,405
水力発電費		1,113,515	969,318
・吉野発電所水車発電機オーバーホール		144,078	
・集中監視制御システム更新		(債務負担) 56,010	
一般管理費		261,068	260,928
風力発電費		128,650	66,762
・大豊風力発電所撤去		70,433	
支払利息及び企業債取扱諸費		5,906	6,508
新エネルギー推進費		2,563	2,653
駐車場管理費		285	284
消費税及び地方消費税		49,938	83,952
特別損失・予備費		4,000	4,000
資本的収支		△ 286,722	△ 82,928
資本的収入		208,000	300,000
投資有価証券償還金		208,000	300,000
資本的支出		494,722	382,928
建設改良費		242,453	30,740
・吉野発電所水車発電機ほか機器改良		121,068	
・集中監視制御システム更新		(債務負担) 496,122	
投資有価証券		200,000	300,000
繰出金		20,000	20,521
企業債償還金・予備費		32,269	31,667

2 工業用水道事業会計

工業用水道事業	31年度予算 見積額	30年度当初 予算額
収益的収支	12,105	18,907
収益的収入	280,309	275,529
給水収益等	178,520	173,788
受取利息・駐車場収益・他会計負担金	4,998	4,881
長期前受金戻入	95,791	95,860
特別利益	1,000	1,000
収益的支出	268,204	256,622
給水費	105,575	88,310
・管路更新概略検討	7,590	
・送水ポンプ場地下水槽耐震診断	7,245	
・西野接合井及び中央ポンプ場ポンプ井耐震診断	6,446	
一般管理費	22,773	22,305
減価償却費・資産減耗費	126,528	131,426
支払利息及び企業債取扱諸費	3,858	4,208
駐車場管理費	203	149
消費税及び地方消費税	6,267	7,224
特別損失・予備費	3,000	3,000
資本的収支	△ 48,083	△ 42,073
資本的収入	0	0
資本的支出	48,083	42,073
建設改良費	26,683	21,022
・配水管路空気弁取替	6,369	
企業債償還金等・予備費	21,400	21,051

3 病院事業会計

(単位:千円)

31年度予算 見積額	30年度当初 予算額
---------------	---------------

病院事業			
収益的収支		△ 463,637	△ 693,429
収益的収入		14,109,264	13,888,105
医業収益		10,403,526	10,238,168
入院収益		7,374,089	7,174,774
外来収益		2,756,556	2,801,023
その他医業収益		272,881	262,371
医業外収益		3,705,735	3,649,934
特別利益		3	3
収益的支出		14,572,901	14,581,534
医業費用		14,194,698	14,140,815
医業外費用		308,374	359,547
特別損失		68,829	80,172
予備費		1,000	1,000
資本的収支		△ 301,670	△ 422,825
資本的収入		1,649,509	1,991,564
企業債		417,400	340,000
借入金		360,633	413,381
負担金		871,476	1,238,183
補助金		0	0
資本的支出		1,951,179	2,414,389
建設改良費		427,216	349,655
企業債等償還金		1,523,963	2,064,734

平成31年度 公営企業局予算見積の概要

1 電気事業会計

予算見積額

(単位：千円)

(単位：千円)

収益的予算	H31	H30	増減	資本的予算	H31	H30	増減
収入(A)	1,671,119	1,649,764	21,355	収入(C)	208,000	300,000	▲ 92,000
支出(B)	1,565,925	1,394,405	171,520	支出(D)	494,722	382,928	111,794
収支差(A-B)	105,194	255,359	▲ 150,165	収支差(C-D)	▲ 286,722	▲ 82,928	▲ 203,794

【増減要因】水力電力料や修繕費等の増加による。

【増減要因】投資有価証券償還金の減少と建設改良費等の増加による。

2 工業用水道事業会計

予算見積額

(単位：千円)

(単位：千円)

収益的予算	H31	H30	増減	資本的予算	H31	H30	増減
収入(A)	280,309	275,529	4,780	収入(C)	0	0	0
支出(B)	268,204	256,622	11,582	支出(D)	48,083	42,073	6,010
収支差(A-B)	12,105	18,907	▲ 6,802	収支差(C-D)	▲ 48,083	▲ 42,073	▲ 6,010

【増減要因】香南給水収益と委託料の増加による。

【増減要因】建設改良費の増加による。

水力発電設備の大規模改修等

1. 吉野水車発電機 オーバーホール等

水力発電量の安定供給に必要な施設の改良等を計画的に実施！

(債務負担行為の現年化)

- ①吉野発電所水車発電機オーバーホール 144,078千円
- ②吉野発電所水車発電機ほか機器改良 121,068千円



①発電機

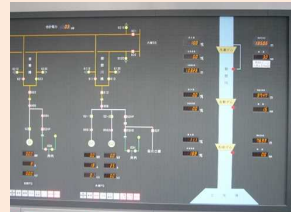


②水車機器

2. 集中監視制御 システム更新

水力発電所(3か所)を運転監視制御するための機器を更新！

552,132千円
(債務負担行為)



総合監視盤

香南工業用水道事業

隣接する給水区域の工水事業を統合し県が運営

工水事業の再編の必要性

- 同一地域に2つの工業用水道事業が存在
- 市工水では4,000m³/日が限度
- 市工水の施設更新や南海トラフ地震対策
- 県施設の余剰能力の活用
- 雇用の創出(川谷刈谷工場用地)

課題への対応

- ◆効率的な給水運用
- ◆安定供給の継続・信頼性の向上
- ◆県、市施設の有効活用、維持管理コストの縮減
- ◆川谷刈谷工場用地の早期活用による雇用創出などの経済効果の発揮

南海トラフ地震対策

鏡川管路更新概略検討

【目的】

老朽化が著しい優先整備区間(約1.5km)について、耐震管によるバイパスの整備を検討 7,590千円

送水ポンプ場・西野接合井等耐震診断

【目的】

最新の設計指針に基づき、レベル2地震動に対する耐震診断を実施 鏡川7,245千円 香南6,446千円

再生可能エネルギーの利活用の推進

◎地域振興につながる再生可能エネルギーの利活用に向けて、市町村等が実施する取り組みを積極的に支援！

- ・一般会計繰出金 20,000千円
- ・市町村補助金 20,000千円

3 病院事業会計

○あき総合・幡多けんみんの両県立病院は、安全・安心な住民生活(QOL)を支える地域の中核病院として、「第6期経営健全化計画」の重点取組項目の着実な推進を図ることにより、質の高い医療の持続的な提供が可能となる健全経営を目指します！

予算見積額

(単位:千円)

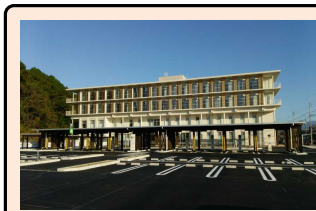
収益的予算	H31	H30	増減
収入 (A)	14,109,264	13,888,105	221,159
支出 (B)	14,572,901	14,581,534	△8,633
収支差 (A-B)	△463,637	△693,429	229,792
経常収支	△393,811	△612,260	218,449

[増減要因] 医業収益(1.6億円)等の増。

資本的予算	H31	H30	増減
収入 (C)	1,649,509	1,991,564	△342,055
支出 (D)	1,951,179	2,414,389	△463,210
収支差 (C-D)	△301,670	△422,825	121,155

[増減要因] 企業債償還金(5.4億円)の減。

医療機能の強化に向けた機器等の整備



あき総合病院

- 4階病棟重症室改修工事 45,927千円
- 超音波診断装置(更新) 19,440千円
- 電子カルテ更新(債務負担行為) 832,579千円



幡多けんみん病院

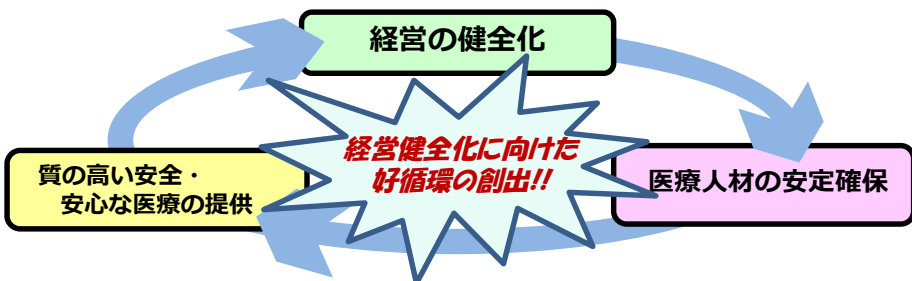
- 血管造影室1空調設備工事 7,983千円
- 核医学画像診断装置(更新) 109,450千円

第6期経営健全化計画(H29～H32)と実績

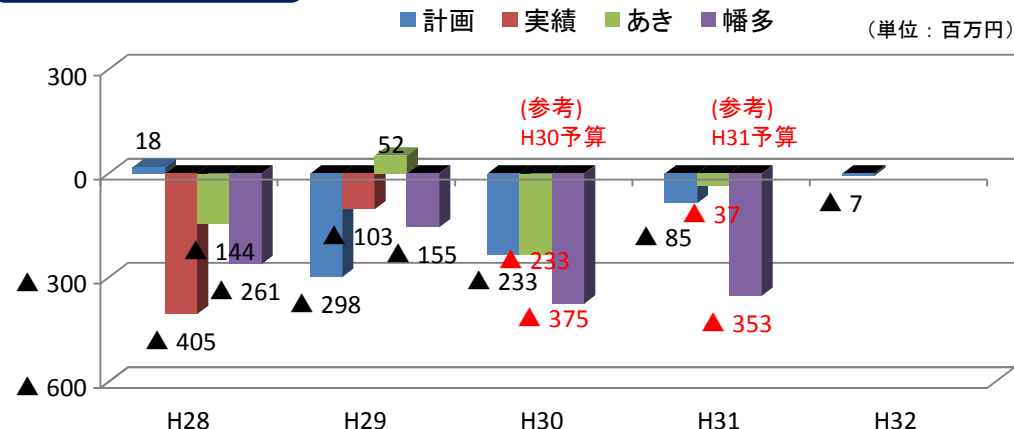
～病院事業全体での経常収支の黒字達成を目指す！～

1.重点取組項目の着実な推進

1. 県民が地域地域で安心して住み続けられる医療提供体制の整備！
2. 医療機能の向上による経営の健全化！
3. 医療人材の安定確保！
4. 南海トラフ地震対策の充実・強化！



2.計画と実績



鏡川工業用水道 管路更新概略検討 C=7,590千円

実施内容

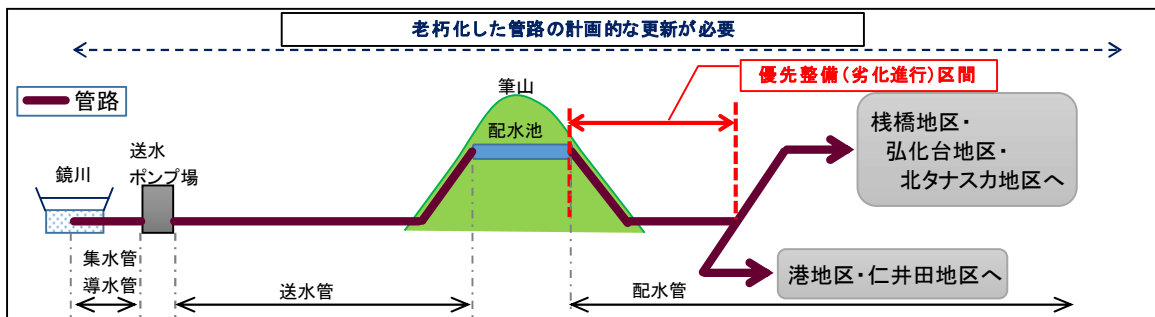
【目的】

法定耐用年数(40年)を経過し、未耐震で老朽化が著しい既設管路の優先整備区間(筆山配水池出口から南ノ丸配水分岐地点まで約1.5km)について、耐震管によるバイパスの整備を検討する

【検討内容】

- 現況調査：現地踏査を行い、計画ルート周辺の状況、地下埋設物の状況、交通状況等について調査
- ルート概略検討：バイパスルートを3案程度抽出し、施工上の課題及び制約について整理
- 概算工事費の算出：断水工法及び不断水工法について算出

筆山より高知市街



施設耐震診断 (鏡川工業用水 C=7,245千円、香南工業用水 C=6,446千円)

鏡川工水施設



鏡川送水ポンプ場

- 対象施設：地下水槽
- 竣工：昭和41年(経過年数52年)
- 構造：鉄筋コンクリート造(地下)
- 寸法：幅9.8m×長17.8m×高11.8m
- 給水能力：55,800m³/日

香南工水施設



中央ポンプ場

- 対象施設(1)：ポンプ井
- 竣工：平成12年(経過年数18年)
- 構造：鉄筋コンクリート造
- 寸法：幅5.5m×長6.5m×高3.7m×2基
- 給水能力：6,000m³/日



西野接合井

- 対象施設(2)：接合井
- 竣工：平成12年(経過年数18年)
- 構造：鉄筋コンクリート造
- 寸法：幅6.0m×長8.0m×高7.8m
- 給水能力：6,000m³/日

実施内容

- 耐震性は一定有しているが、最新の設計指針(工業用水道施設設計指針・解説2018)に基づき耐震診断を実施
- 耐震計算は、施設規模等を踏まえ、適切な計算手法を適用

耐震設計の基本方針

- 設計地震動(レベル2地震動)
⇒施設地点において発生すると想定される最大規模の地震動を地域防災計画等から抽出
- 目標耐震性能
⇒地震によって生じる損傷が軽微であって、地震後に必要とする修復が軽微なものにとどまり、機能に重大な影響を及ぼさない性能

あき総合病院

1. 10月末現在における状況

(単位:百万円)

医業収益	入院	外来	合計
H30計画(A)	1,623	681	2,304
H30実績(B)	1,733	704	2,437
H29実績(C)	1,649	681	2,330
計画比(B)-(A)	110	23	133
前年度比(B)-(C)	84	23	107

2. 主要指標

	単位	H28		H29		H30		(参考) H29.10月末 実績		
		計画	実績	計画	実績	計画	実績 (10月末)			
診療機能	新入院患者数	人	3,240	3,162	3,206	3,217	3,206	1,990	1,917	
	手術件数	件	1,176	873	875	879	883	500	549	
	救急車受入件数	件	1,440	1,708	1,724	1,876	1,732	1,180	1,056	
	紹介率	%		18.7		19.7		19.8	19.6	
	逆紹介率	%		26.6		28.6		29.0	26.5	
経営指標	一般	1日平均入院患者数	人	152.0	150.2	149.5	162.1	149.9	158.7	159.8
		入院診療単価	円	41,600	41,672	42,842	41,122	43,521	43,670	40,903
		病床利用率(稼働)	%	86.9	85.4	85.4	92.0	85.7	90.4	90.6
	精神	1日平均入院患者数	人	80.0	77.4	76.8	78.3	76.8	77.9	79.8
		入院診療単価	円	14,800	15,453	15,491	15,002	15,491	15,034	14,700
		病床利用率(稼働)	%	88.9	86.0	85.4	87.0	85.4	86.6	88.7

注) 病床利用率の病床数は、結核を除く稼働病床数(一般:175床、精神:90床)

診療応援の実績

	室戸岬 診療所	森沢 病院	津田クリ ニック	室戸中央 病院	合計
H29	20	54	7	—	81
H30 (9月末)	11	29	5	3	48

在宅復帰率

	H28	H29	H30 (9月末)
一般病床	86%	89%	94%
地域包括ケア病床	77%	78%	81%

地域連携機能の強化

	H28	H29	H30	H31(予定)
地域連携室(Ns.SW)	8名	8名	10名	10名
地域連携室(委託)	1名	1名	1名	2名

訪問看護の実績

	H28	H29	H30(9月末)
身体科	327	424	143
精神科	259	235	106

幡多けんみん病院

1. 10月末現在における状況

(単位:百万円)

医業収益	入院	外来	合計
H30計画(A)	2,519	919	3,438
H30実績(B)	2,450	922	3,372
H29実績(C)	2,483	923	3,406
計画比(B)-(A)	△69	3	△66
前年度比(B)-(C)	△33	△1	△34

2. 主要指標

	単位	H28		H29		H30		(参考) H29.10月末 実績	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績 (10月末)		
診療機能	新入院患者数	人	6,000	5,634	5,891	5,847	5,983	3,327	3,374
	手術件数	件		1,807		1,912		1,032	1,093
	救急車受入件数	件		2,463		2,633		1,543	1,490
	紹介率	%	40.0	30.8	33.8	32.5	36.8	33.7	33.3
	逆紹介率	%	65.0	64.8	63.8	74.8	65.8	77.5	72.6
経営指標	1日平均入院患者数	人	239.9	223.1	229.2	230.2	232.8	211.2	223.1
	入院診療単価	円	53,013	51,156	51,693	51,617	51,800	54,184	51,999
	病床利用率(稼働)	%	77.1	71.5	73.7	76.7	74.9	72.3	72.8

注) 病床利用率の病床数は、結核・感染症を除く稼働病床数(一般:311床→291床)

診療応援の実績

	大月病院
H29	57
H30(9月末)	18

在宅復帰率

	H28	H29	H30 (9月末)
一般病床	88%	87%	87%

地域連携機能の強化

	H28	H29	H30	H31(予定)
医療相談室(SW)	3名	3名	2名	3名
入退院支援センター(Ns)	3名	5名	6名	6名
地域医療室(委託)	3名	3名	3名	4名

1. 目標達成に向けた重点取組項目の推進

(1) 県民が地域地域で安心して住み続けられる医療提供体制の整備

- ① 地域医療を支える医師派遣システムの推進(共通)!
- ② 地域の医療機関や福祉関係者等との連携の強化(共通)!
- 新** ③ 病棟重症室の設置(あき)!
- ④ 地域医療支援病院の指定に向けた紹介率の向上の取組(幡多)!

(2) 医療機能の向上による経営の健全化

- ① DPC機能評価係数のアップに向けた取組(共通)!
- 新** ② 病院機能評価(現認定:H33.2月まで)の更新に向け院内業務の再整理・改善(あき)!
- 新** ③ 電子カルテの更新(H32.5月導入予定)による機能の向上と医師負担の軽減(あき)!

(3) 医療人材の安定確保(共通)

- ① 医師をはじめとする医療スタッフの安定確保!
- ② 専門医・初期臨床研修医の積極的な受入れ!

(4) 南海トラフ地震対策の充実・強化(共通)

- ① 災害拠点病院としての役割・機能の発揮!
第4期南海トラフ地震対策行動計画への対応!
・BCPの不断の見直しと訓練により明らかになった課題への機動的な対応 → 機器・備品等の整備
(衛星データ通信機器の購入(あき)、階段避難用エアーストレッチャーの購入(幡多))

2. 経営健全化に向けた取組

(1) 幡多けんみん病院の稼働病床数の見直し

	(平成28年度)	→	(平成29年度)
① 小児、産婦人科病床	63床	→	60床 (▲3床)
② その他病床	248床	→	231床 (▲17床)

見直し後

入院患者数(10月末): H29年度 47,739人 → H30年度 45,203人 (▲2,536人)
病床利用率(10月末): H29年度 72.8% → H30年度 72.3% (参考 あき: 90.4%)

今後

- 収益増加項目と体制の見直しを含めた費用削減項目の洗い出しを医療経営コンサルへ委託
- 地域の医療ニーズや地域医療構想調整会議での議論などを踏まえ、適正な病床数や更なる病棟再編を検討

(2) 経費の見直し

材料費

- 在庫数量の適正化

医療機器保守契約の見直しの検討

- 委託費削減のため、医療機器の保守契約の見直し

(3) 一般会計負担金・借入金

(単位: 千円)

	H30	H31	増減
負担金(3条+4条)	3,818,890	3,588,096	△ 230,794
長期借入金	413,381	360,633	△ 52,748
計	4,232,271	3,948,729	△ 283,542